

九州産業大学大学院

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL



令和2年度 研究成果発表会

染織技法を用いたワークショップのフレームワークデザイン

-実践研究からの仮説・検証-

Design for frameworks of workshop using dyeing and weaving techniques

- Hypothesis and verification based on practical workshop researches -

博士前期課程

芸術研究科 造形表現専攻 デザイン領域

中園 唯

主査 青木幹太
副査 井上友子
三枝孝司

研究背景

近年「ワークショップ」というインフォーマルな学びの場の展開と普及があるが、分野や領域を超えて共通するフレームワークが見出しにくいという指摘があり、様々な分野で研究が進められている。

筆者はこれまで自身の専門分野である染織技法を用いて主に子どもを対象にしたワークショップを展開しており、その基本となるワークショップのプロセスや方法には共通点があることが分かってきた。

研究目的

筆者が実践した染織技法を用いたワークショップを対象に、それをデザインするための方法として、フレームワークの考え方を明らかにする。

研究方法

1. ワークショップの定義や位置づけを行い、背景・課題・問題点を明らかにする。
2. 先行研究から得られた知見を踏まえ、2件のワークショップを分析し、フレームワークの仮説を立てる。
3. 仮説を実践し、フレームワークの可能性を考察する。

研究概要 実践研究①

石橋文化センター
「石橋文化センターアートフェスティバル
2019 アートワークショップ
いろいろな色でコースターを織ろう！」

開催日：2019年11月2日（土）
時間：10時30分～17時
会場：石橋文化会館
市民ギャラリーみゅ～ず
参加：随時受け入れる
内容：段ボール製の簡易織機を用いて、
平織技法でオリジナルコースター
を制作する。
参加数：17名



研究概要 実践研究②

星の館

絞り染め体験

「自分だけの星空を染めよう！」

開催日：2019年8月4日（日）

時間：14時～15時、16時～17時

会場：白水公園内 天文施設 星の館

参加：事前申し込み

内容：絞りの防染技法を用いて白地の
バンダナに模様を施し、インド藍で
染色する。

参加数：40名



研究概要 フレームワークの仮説

実践研究①・②の結果や行動分析から抽出した
フレームワーク形成に関わる要素を基に下記仮
説をたてた。

染織技法を用いたワークショップの フレームワーク

仮説1：ワークショップのプロセスは
[注意] → [導入] →
[制作] → [振り返り] である

仮説2：プレ・ワークのプロセスを含む

	講師	参加者
注意 【Attention】	募集	関心 興味
導入 【introduction】	説明	把握
	提示	プレ・ ワーク
	補助	理解 学習
制作 【work】	補助	選択
		体験
振り返り 【reflection】	省察の補助	省察
	共有	共有

研究概要 仮説の実践検証

実践研究③：第39回ながずみ夜市
「長住げんき旗制作」
「マスクに模様ワークショップ」

開催日：2020年9月19日（土）

時間：17時～20時

会場：長住中央公園 広場

参加：随時受け入れる

内容：転写紙に旗の模様をデザインし描く、
転写技法を用いてマスクにオリジナル
の模様を染め付ける

参加数：げんき旗 36名

マスク 39名



成果・まとめ

本研究のフレームワークは、染織技法を用いたワークショップにおいてその有効性が示唆された。今後は、様々な条件下で実践・検証を重ねフレームワークの汎用性や妥当性を高めていく。

インフォーマルな学びの場として展開され始めたワークショップは、今後増々発展していくだろう。ワークショップ研究に寄与するため、今後も実践と検証を繰り返し研究を継続するとともに、筆者が感じている染織技法の可能性を広く発信していきたい。

指導教員コメント

本研究は、染織工芸を専門とする研究者が、その知識や技術を用いて、主に小学生以上の児童や学生を対象にしたワークショップを実施し、その成果からワークショップデザインの基本となるフレームワークの考え方を明らかにしている。研究のポイントは、実際にワークショップを企画し、地域の公的機関や民間団体と連携して、ワークショップに参加した児童、学生の教育的効果を導くとともに、活動中の行動分析やアンケート調査結果などから、フレームワーク構築の仮説を導き、実践を通して検証している点にある。研究者の粘り強い取り組みから、ワークショップの新しい方向性が示されている。

青木幹太